

平成 27 年度 第 2 回 評価委員会の意見要旨

第 1 - 2 - (1) がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応について

- ・ 前回の委員会において、目標指標が実態にそぐわないという意見があったが、目標指標の変更はできないのか。

→ (事務局意見)

中期計画に記載されている目標指標については、変更可能である。手続きとしては、評価委員会において、法人側が議事として変更しなければならない具体的な理由を取り上げ、委員の意見を聴取し、議決を経たうえで変更が承認される。

→ (法人意見)

目標指標の方向性が、医療全般の方向性と全く逆のものになれば目標指標の変更を検討する。現在の目標指標については、医療全般の方向性に沿った目標という認識であり、法人側としては、特に変更までは考えていない。

- ・ 目標指標を下回っている項目については、治療方法の変化など理由がはっきりしているものもあるが、そうでないものもある。
- ・ 数値の部分だけを見て評価するよりも、法人側の取り組み内容についても十分に考慮すべきである。単に数字にとらわれるのではなく、行動面も含めて総合的に評価することが適切であると思われる。

第 1 - 2 - (3) 総合的な診療とチーム医療の推進

- ・ チーム医療に関する項目であるが、法人側の自己評価の表現では、口腔外科のみの取り組みという印象がある。

→ (法人意見)

院内においては、チーム医療をかなり推進しており、もちろん他科においても様々な医療チームを形成している。平成 26 年度の実績報告の記載は、特に平成 26 年度の特徴的な取り組みを記述したものであり、決してチーム医療は口腔外科だけではない。

第 2 - 1 - (2) 質の高い経営

- ・ 平成 26 年度においては今後結果が出るという取り組みが記載されており、実際に結果が出ている部分は少なかった印象であった。

→ (法人意見)

医療スタッフの協力を得ながら、休日診療等に力を入れる等、医療体制の維持と経営面でのバランスを見ながら経営を行っている。

第3-1 経常収支の黒字の達成

- ・収入の増加による黒字の達成については納得できるが、費用削減についてはあまり進んでいない印象がある。

→（法人意見）

医療の高度化などによる材料費の増等、収入を確保するためには、費用が増加してしまう要因も病院経営にはあるが、水光熱費等の削減などもう少し努力できることもあり、一層の費用削減に取り組み、適正な費用執行に努めていく。

（評価報告書コメント（案）に対する意見）

第1-1-（1）救急医療について

- ・救急医療の分野では二次医療圏内完結型の医療を担うという認識でいたが、「地域完結型医療の構築」という表現は適切でないのではないかと。

第1-2-（3）総合的な診療とチーム医療の推進

- ・評価結果報告書のコメント（案）の「多職種が連携する」との記載について、多職種とは介護職等の医療機関外との職種連携を示す場合もあるので、定義づけをはっきりした方がよい。

第1-5-（1）地域医療機関との連携推進

- ・地域包括ケアシステムについては、堺市では基本方針がまだ決まっておらず、表現を変えた方がよい。

→（事務局） 表現については、改める。